人文地理学演習(1)

担当:佐々木 達通称:経地理ゼミ

ゼミキーワード:経済地理学、農業地理学、日本経済、地域経済、食料供給、東北農業



〈経地理ゼミ〉の特徴や活動内容

本ゼミナールは、3年生と4年生が一緒に学びます。3年生は、主として卒業論文作成に向けた学術論文・著書の輪読と発表(一人半期2回)、研究方法の検討、ゼミ論文(秋学期)の作成に取り組みます。ゼミ論文は、学生の希望する調査地域を設定し、統計作業やミニ巡検(ゼミ合宿)をこなしながら一つの作品を作り上げることで卒業論文作成にむけた準備として位置づけられています。4年生は卒業論文作成の進捗状況の報告、論文完成を目指します。

本ゼミナールは、自分の可能性に積極的に投資する姿勢を持ち、研究に意欲的な学生を募集しています。学生の自主性やチームワークを重視していますので、一人で考えて、みんなで議論することによって、アイデアや深まりのある研究が生まれることを期待しています。卒業論文のテーマは、各自の興味関心に基づいて自由に設定することが可能です。地方圏の経済や第一次産業に興味のある方にはオススメですので、ぜひ一緒に研究を進めましょう。

過去の

●東北地方における道の駅の展開条件

卒業論文の

●宮城県大崎市における稲作農業の再編成

論題例

- ●秋田県横手市における地域労働市場の展開と若年層の定着条件
- ■佐々木先生ってどんな先生?■ 現代の「食」について「農業地理学」を通して深く考えておられる先生です。今年度からの新しい先生になりますが、地理学に熱心で生徒想いな方とお伺いしています。「農業地理学」への価値観をもっと身近なものとへと変えて頂けるでしょう。 〈ゼミ生Nさん〉